



## 山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
URL:https://www.mokusankyo.jp  
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

### 目次

1. 第2回木造建築セミナー開催
2. 東京 MOKUTION 木の国やまがたの魅力展
3. 第30回林業まつり実績報告会
4. やまがたの木認証制度検討委員会開催
5. 12月以降の行事



## I 第2回木造建築セミナー開催される

11月22日に第2回木造建築セミナーが、山形市内のヒルズサンピア山形で開催されました。セミナーは鼎談形式で行われ、【地材地建の普及に向けた意匠と構造の融合設計とは】をテーマに【山形県建築士会副会長】の石山徳昭氏が進行役となり、【瀬野和広+設計アトリエ主宰】の瀬野和広氏、【東京大学大学院教授】の稲山正弘氏が、それぞれ【意匠設計】と【構造設計】に配慮した建築事例や今後の地域材利用について熱く語りました。

### テーマ 【地材地建の普及に向けた意匠と構造の融合設計とは】

初めに【稲山氏】から、「木組と地域材でつくる中大規模木造建築」と題して、氏が手掛けてきた建築技術の紹介がありました。

そのなかでは、スギ材の面格子耐力壁や樹状立体トラスを活用して建築した事例、日本の伝統的な継手仕口の木組で地元工務店が建築した事例、さらには、外観の美しい組子格子耐力壁を使った木造施設の事例紹介がありました。

【稲山氏】からは、その地域の材を使い地元で製材・プレカットし、地元の工務店が建築することで十分中大規模な木造施設を建築することができること。住宅用の一般流通材や住宅用のプレカット生産システムを使えばコストも抑えられること。「このような木を表しにした軸組工法が室内空間の意匠として形成される建築物が【日本の木造建築のスタンダード】になってほしい」と提案がありました。その後、瀬野氏と稲山氏がコラボした様々な木造建築の事例紹介があり、最後に地材地建を進める上で重要となることの説明や、今後に向けた提案をいただきました。



【瀬野氏】(専門:意匠設計) 1959年山形県生まれ。大成建設設計本部勤務後、1988年設計アトリエを開設。2009年～東京都市大学都市生活学部非常勤講師を務める。良質な国産材を使用した木造住宅・施設の設計を数多く手がけている。

【稲山氏】(専門:構造設計) 1958年愛知県生まれ。東京大学卒業後ミサワホーム(株)勤務。1990年稲山建築設計事務所(現ホルツストラ)設立。2012年～東京大学大学院農学生命科学研究科教授。木質構造の研究・開発及び構造計算を数多く手がけている。

## 2 東京モクシオンで県産広葉樹製品魅力発信



「木の国やまがたの魅力展」が、11月17日（木）～29日（火）まで東京都新宿内にある国産木材魅力発信拠点「MOCTION」で開催されました。

MOCTIONは東京都が運営し、全国各地の木材活用の取り組みを紹介する展示スペースとなっていて、今回、当組合では、県産広葉樹 JAS 製材品や広葉樹フローリング、県産木材で作られた皿、積み木などの日用品等を展示し好評を得ています。

**場所** 国産木材の魅力発信拠点 MOCTION

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー5階 リビングセンターOZONE <https://maction.jp/>

- 11月18日（金）14時～から、会場と山形県内の出展者をつないだ「オンラインツアー」も開催され、遠方で会場にお越しいただけない皆さまに、オンラインツアーで展示内容や取り組みを紹介しました。

### 東京モクシオン会場の展示状況（東京都と山形県が協定を締結して展示会を開催）



広葉樹 JAS 製材、広葉樹フローリング



広葉樹バックパネル



### （ツアー参加者の感想）

- 「アンケート回答者」14団体（全般に：良かったが14団体）  
・目についた商品：建材、木製雑貨、おもちゃ、木製食器など

### 3 第30回山形県林業まつり実績報告会開催

12月2日(金)に村山総合支庁講堂において、標記実績報告会が開催されました。

3年ぶりの開催でしたが、開始1時間前から多数の方が会場前に集まるなど、県民の皆様への定着度は高いものがあること、【各地域振興会の木工体験イベント】【県産木材を使った構造躯体の展示】などで木材産業の役割や「木の良さ」を情報発信出来たことについて、事務局から報告がありました。

最後に、令和5年度も同様の体制・規模で当該イベントを実施する方針が確認されたところです。



出展者の皆様、広告協賛を頂いた企業の皆様に感謝申し上げます。

報告会の様子

### 4 やまがたの木認証制度検討委員会の開催 (やまがた県産木材利用センター報告)

●12月6日(火)午前10時から、山形市内の山形県産業創造支援センター会議室において、やまがたの木認証制度検討会が開催されました。

今年度初の検討会となりましたが、通常の無垢材を対象とした認証制度、合板・集成材・LVL等の新たな認証制度まで大きくは4種類の認証制度の点検と、要綱等で様式の定めが必要な項目の検討が行われました。

その後、各委員から認証制度全般に関する意見聴取を行いました。委員からは基本となる産地証明を遵守すべく、各認定事業者への指導等を徹底するよう意見が出されました。

#### 【やまがたの木認定事業者技術講習会】

●12月6日(火)午後2時から、山形市内の産業創造支援センター会議室において、標記講習会を開催しました。3年に1度の更新時期もしくは、新規認定事業者向けの講習会となっています。初めに県森林ノミクス推進課の山崎補佐から県内の木材産業等の状況説明があり、その後、認証制度について詳細説明が行われました。



県森連：齋藤委員が委員長に就任



県森林ノミクス推進課の説明

### 5 12月以降の行事

日程	行事名	予定出席者
12.14	クリーンウッド法及び合法木材研修会 山形市内パレスグランデール	専務理事
12.19	木産協：顧問と理事長の意見交換会 山形市内ホテルキャッスル	顧問、理事長
1.5	三役 新年挨拶 県農林水産部ほか	理事長、理事
1.12	地域材利用拡大研修会 (JAS材利用) 山形市内山形国際ホテル ※全木連 田口常務を講師にお招きします	理事長、理事
1.16	第1回木材利用セミナー (赤堀講師) 山形市内パレスグランデール	理事長、専務ほか
1.20	第2回木材利用セミナー (長野講師) 山形市内山形国際ホテル	理事長、専務ほか

【年末年始の休業】：12月29日(木)から1月4日(水)まで年末年始のお休みをいただきます。(1月5日から関係機関等への挨拶まわりを予定しています)

●12月7日：東北森林管理局 (次長：小島健太郎氏：着任ご挨拶)

「小島次長は、県が「林業課」時代に、治山担当技師の県職員として山形県に勤務した経歴をお持ちです。」

## ●全木連からのお知らせ

### RoomClip コラボ企画

#### みなさんの「国産木材のある暮らし」の投稿を大募集！

##### 国産木材のある暮らし スゴイゾニッポンの木のちから！

RoomClip には、おうちのさまざまな場所にこだわりの木材を取り入れている実例が投稿されています♪ 今回はその中でも「国産木材」を使用した空間やアイテムを見せてください！ 柱や梁、壁や床、浴室、木製家具など国産木材を取り入れていればなんでも OK です！ 産地や木の種類、国産木材を使った理由などもぜひコメントで教えてください。たくさんの投稿をお待ちしております！



#### 【募集要項】

##### ●応募について

2022年11月30日～2022年12月29日に、RoomClipの応募フォームから投稿した作品だけが対象になります。プロフィール情報の「都道府県欄」を応募期間内に登録して下さい。

##### ●審査について

2022年12月30日～2023年1月19日の間を審査期間とします。

日本最大級のインテリア実例アプリ・サイト“RoomClip”とのコラボ企画として「国産木材のある暮らし」をテーマにした投稿募集キャンペーンです。

RoomClipは、住生活の領域に特化した日本最大級のソーシャルプラットフォームです。様々なユーザーが投稿した「住生活の実例写真」の実例写真は、アプリやウェブサイトを中心に、SNSや出版物を通じて多くの人に届けられています。

今回は柱や梁、壁や床、浴室、木製家具などの「国産木材」を使用した空間、アイテムを募集し、応募作品の掲載などを通じ国産材使用の啓発に向けた取り組みになっております。



詳しくは日本最大級のインテリア実例アプリ・サイト“RoomClip”にて

## ●全日本木材市場連盟からのお知らせ

### 木材アドバイザー（もくアド）養成講習会

- 木材を取り扱う方々等を対象に環境問題や木材需給、日本の林業のほか、木の見分け方や基本的性質、木造建築に関する実践的な知識を学んで頂くため、下記により木材アドバイザー養成講習会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。当講習会につきましては、今回も（公社）日本建築士会連合会のCPD認定プログラムとなっております。

記

- 主催：一般社団法人 全日本木材市場連盟
- 各会場の定員 東京会場40名程度、大阪会場40名程度
- 日程等：  
(東京会場) 令和5年2月17日(金) 9:30~17:20  
2月18日(土) 9:00~15:40  
**林野会館（(一社)全国林野関連労働組合会館）会議室**  
(〒112-0012 東京都文京区大塚3-28-7 林野会館)  
  
(大阪会場) 令和5年2月24日(金) 9:30~17:20  
2月25日(土) 9:00~15:40  
**大阪木材仲買会館会議室**  
(〒550-0015 大阪市西区南堀江4丁目18番10号  
大阪木材仲買会館)
- 受講料：25,000円  
(ただし、受講料、テキスト代、受験料等を含みます)
- カリキュラム等(予定)  
教科内容と講師は次のとおり予定しており、これを2日間に分けて実施します。

オリエンテーション	(一社)全市連事務局
地球環境保全と森林・木材利用	早稲田大学 森川 靖 名誉教授
森林と人との関わり、日本の林業とその課題	フリーライター 赤堀 楠雄 氏
木造建築・木造住宅を知る、木造建築・木造住宅を科学する	東京都市大学 大橋 好光 名誉教授
木材に対する建築側の期待	A/EWORKS理事 栗田 紀之 氏
木について知っておくべき事柄	東京大学 岡野 健 名誉教授
木の見分け方の基本	京都大学 杉山 淳司 教授
テスト1	(一社)全市連事務局
世界の木材需給の動向と日本の木材需給の見通し	NPO法人 活木活木森ネットワーク 遠藤 日雄 理事長
テスト2	(一社)全市連事務局

木材アドバイザー制度については、以下の全市連のホームページをご覧ください。

[https://www.zennichiren.com/mokuad/mokuad\\_top.html](https://www.zennichiren.com/mokuad/mokuad_top.html)

●一般社団法人 日本木質バイオマスエネルギー協会からのお知らせ

「河川内樹木及びダム流木のバイオマス利用の手引」を公開

環境省では、国土交通省と連携し、既存インフラを活用した再生可能エネルギーの普及加速を図る取組の一環として、河川内の樹木、ダム流木等をバイオマスとして利活用するために、河川内樹木やダム流木がどのようなものか・バイオマス利用にあたりどのような手続や調整が必要かといった基礎知識を解説するものとして、「河川内樹木及びダム流木のバイオマス利用の手引」を作成しました。

※ 分かりやすく読み応えのある内容となるよう作成しましたので、バイオマス発電事業者、チップ化事業者、一般廃棄物処理施設などのバイオマス受入側と、河川やダムの管理者といったバイオマス排出側をはじめ、

- 河川内樹木、ダム流木、バイオマスについて、そもそもどのようなものか、どれくらいあってどんな種類があるのか知りたい
  - バイオマスとしての品質は実際どうなのか知りたい
  - 法律や制度等どんな規制があって利用するためにはどのような手続が必要なのか知りたい
  - どのような利用者がいてどのように提供されるのか、実際の事例が知りたい
- という方等、皆さまに広くご覧いただければ幸いです。



● 林野庁からのお知らせ =内閣総理大臣賞が決定しました=

(モクレポ)  
【特集記事】

**令和4年度木材利用優良施設コンクール受賞施設決定**

木材利用促進月間において、令和4年度木材利用優良施設等コンクール（主催：木材利用推進中央協議会）の受賞施設等を決定、公表。

**内閣総理大臣賞 「流山市立おおぐろの森中学校」**



**農林水産大臣賞 「京丹波町役場 新庁舎」**



**文部科学大臣賞 「大豊町立大豊学園」**



今年度は、文部科学大臣賞を新設するとともに、国産材の利用推進に貢献した事業者等を顕彰する「国産材利用推進部門」を新設。

この他受賞については、次のURLをご覧ください。  
[https://www.jcatu.jp/commendation/14\\_list\\_detail.html](https://www.jcatu.jp/commendation/14_list_detail.html)



●木産協からのお知らせ（特に製材業者の皆様：是非参加をお願いします）

## 第1回 地域材を活用した木材利用セミナー

地域材の利用を拡大するためには、木材の主な用途となっている建築用木材の利用拡大を図ることが必要となります。

しかしながら、人工減少により木造住宅の規模が縮小していくものと想定され、今後は一般住宅に加えて民間施設等の非住宅分野の木造利用もあわせて拡大していくことが課題となっています。

そのため、木造建築関係者や県市町村等の建築担当者等を対象にした木造建築を活性化させる木材利用セミナーを開催します。



### 第1部 基調講演 ウッド・ショック後の地域材利用の課題と今後の展望

●講師 赤堀 楠雄 氏  
【林材ライター】

- ウッド・ショック後の木材業界の激変
- アフターコロナを見据えた新たな木材利用
- 地域材を活用したこれからの木の建築
- 全国の優良事例を探る

### 第2部 地域材利用 鼎談

テーマ (仮称)国産材への転換を進める新たな地材地建を考える

(鼎談イメージ)



瀬野和広+設計アトリエ  
主宰 瀬野 和広氏  
(建築家)

川上から川下における従来の連携(製材・加工・建築・設計)を支える仕組みづくりを提案

キーワード

- ・一般製材での地材地建の普及・天然乾燥材、JAS認証材の利用・地域製材所が提案する新たな木材利用



林材ライター  
赤堀 楠雄氏

(進行役)：金山町森林組合 常務理事 狩谷健一氏

●日時 令和5年1月16日(月) 13:30~16:00

●会場 パレスグランデール 2F エアル

(山形市荒楯町1-17-40 TEL:023-633-3313)

【連絡先】 山形県木材産業協同組合 担当：高橋・堀米  
住所 山形市松栄1-5-41 TEL:023-688-4800 FAX:023-646-8699  
Mail: yamawood@mokusankyo.com

【主催/後援】 山形県木材産業協同組合、やまがた県産木材利用センター  
村山地域林業振興協議会 【後援予定】 山形県

【令和4年度 国産材転換支援緊急対策事業】で実施しています。

●参加希望者は(木産協)までお問い合わせ願います。

### ●【第2回 地域材利用セミナー】(予定)

1月20日(金) 14:00~16:30 会場：山形国際ホテル

第1部 基調講演 山形の森をモリアゲよう！(長野麻子氏：元林野庁木材利課長)

第2部 意見交換 各団体の話題提供・質疑

## ●住宅着工状況 (10 月期)

令和4年10月期の県内新設住宅着工戸数は319戸となり、対前月比89.6%、対前年同月比65.2%、対前年累計比は84.4%となった。県内では貸家、持家ともに減少傾向。地区別の前年比、累計比とも大きく減少となった。木造率は89%。

### 1 県内新設住宅着工戸数(令和4年10月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
2年	5,005	2,939	1,338	7	721	4,935	70	4,480	89.5%	3,259	87	1,134
10月	489	244	193	0	52	485	4	405	82.8%	278	6	121
R3.1~10	4,383	2,475	1,238	20	650	4,232	151	3,580	81.7%	2,733	58	789
11月	426	262	112	0	52	421	5	384	90.1%	305	4	75
12月	378	215	94	0	69	373	5	349	92.3%	235	8	106
04.1月	310	139	105	0	66	307	3	260	83.9%	180	9	71
2月	432	143	204	1	84	429	3	295	68.3%	184	1	110
3月	219	151	21	2	45	214	5	206	94.1%	161	6	39
4月	314	231	35	1	47	305	9	300	95.5%	248	8	44
5月	390	246	107	0	37	369	21	329	84.4%	282	4	43
6月	445	257	122	2	64	438	7	377	84.7%	283	4	90
7月	414	208	151	5	50	410	4	348	84.1%	260	2	86
8月	502	241	207	0	54	501	1	416	82.9%	288	6	122
9月	356	226	97	0	33	352	4	323	90.7%	226	3	94
10月	319	186	84	0	49	313	6	284	89.0%	210	9	65
対前月比	89.6%	82.3%	86.6%	-	148.5%	88.9%	150.0%	87.9%	-	92.9%	300.0%	69.1%
対前年同月比	65.2%	76.2%	43.5%	-	94.2%	64.5%	150.0%	70.1%	-	75.5%	150.0%	53.7%
03.1~当月計	4,383	2,475	1,238	20	650	4,232	151	3,580	81.7%	2,733	58	789
04.1~当月計	3,701	2,028	1,133	11	529	3,638	63	3,138	84.8%	2,322	52	764
対累計前年比	84.4%	81.9%	91.5%	55.0%	81.4%	86.0%	41.7%	87.7%	-	85.0%	89.7%	96.8%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(令和4年10月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	319	3,701	65.2%	84.4%	3,138
山形市	78	1,220	64.5%	84.5%	858
上山市	17	100	212.5%	125.0%	97
天童市	21	207	30.9%	66.8%	193
山辺町	11	47	366.7%	95.9%	44
中山町	5	31	500.0%	155.0%	29
東南村山	132	1,605	65.7%	84.4%	1,221
寒河江市	10	106	66.7%	52.5%	102
河北町	2	38	40.0%	74.5%	37
西川町	0	14	-	1400.0%	14
朝日町	0	4	-	100.0%	4
大江町	0	9	0.0%	81.8%	9
西村山	12	171	54.5%	63.6%	166
村山市	3	56	60.0%	101.8%	52
東根市	38	340	950.0%	123.6%	304
尾花沢市	0	14	0.0%	56.0%	14
大石田町	0	3	0.0%	50.0%	2
北村山	41	413	341.7%	114.4%	372
村山地域	185	2,189	78.7%	86.5%	1,759
新庄市	4	107	12.5%	78.1%	105
金山町	0	1	-	50.0%	1
最上町	1	5	-	71.4%	5
舟形町	0	2	-	25.0%	2
真室川町	0	5	0.0%	45.5%	5

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	2	-	200.0%	2
鮭川村	1	5	-	166.7%	5
戸沢村	0	6	-	120.0%	6
最上地域	6	133	18.2%	76.4%	131
米沢市	15	274	55.6%	102.6%	254
南陽市	9	85	150.0%	81.7%	81
高畠町	0	39	0.0%	63.9%	38
川西町	3	33	100.0%	60.0%	30
東南置賜	27	431	69.2%	88.5%	403
長井市	17	88	89.5%	83.0%	87
小国町	0	30	0.0%	88.2%	10
白鷹町	11	35	366.7%	102.9%	33
飯豊町	2	20	200.0%	125.0%	18
西置賜	30	173	60.0%	91.1%	148
置賜地域	57	604	64.0%	89.2%	551
鶴岡市	42	342	54.5%	59.7%	324
三川町	1	16	16.7%	66.7%	15
庄内町	5	37	100.0%	62.7%	37
田川	48	395	54.5%	60.2%	376
酒田市	22	357	51.2%	107.9%	299
遊佐町	1	23	100.0%	176.9%	22
飽海	23	380	52.3%	110.5%	321
庄内地域	71	775	53.8%	77.5%	697

注:累計は令和4年1月~